



# 『東北圏だより』



## 福島県の復興に向けて

復興庁 福島復興局

震災・原発事故から2年が経過しました。福島県では、地震・津波被害だけでなく、原発事故による影響で、いまだ15万人を超える方が県内外への避難をされているところです。

福島県内には、「復興庁福島復興局」だけでなく、原発事故避難区域の再編や運用を担当している「原子力災害現地対策本部」、除染や廃棄物を担当している「環境省福島環境再生事務所」が設置され、県内の課題に対応しているところですが、今年2月に総理指示を踏まえ、東京に福島再生総括本部、福島に福島復興再生総局が発足し、福島復興再生総局の下に、福島復興局、原子力災害現地対策本部、福島環境再生事務所の3機関の体制を一元化しました。さらに4月からは、福島復興局において、市町村に対応する地域班を充実するなど、体制の強化を図りました。

また、復興予算の枠組みの見直しや、復旧、復興の具体化・推進のために、避難指示解除準備区域等におけるインフラ復旧工程表、住宅再建・まちづくり関係事業に関する工程表などの施策にも取り組んでいるところです。

避難指示解除準備区域等におけるインフラ復旧工程表については、警戒区域等が見直された市町村を中心に、現在まで10市町村（田村市、南相馬市、川俣町、飯舘村、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、浪江町、葛尾村）において作成・公表し、本格的な復旧に着手しております。この工程表は災害復旧事業を主に当面3か年の復旧見通しについて、国や市町村などの公的な関係機関だけでなく、住民の方も含めて幅広く「見える化」を図っているところです。

住宅再建・まちづくり関係事業に関する工程表では、被災者の方々に住まいの確保について見通しを持っていたけるよう、防災集団移転促進事業等の面整備事業によって供給される民間住宅等用地及び災害公営住宅の整備に係る工程表を作成し、今年3月に公表したところです。

現在の浜通り地方における交通の状況ですが、津波被害だけでなく、原発事故の影響により南北の交通が寸断されており、迂回を余儀されております。震災当時に建設中だった常磐自動車道については、環境省で除染を実施し、NEXCOにおいて鋭意復旧・建設工事が進められており、平成26年度に供用する区間（浪江IC～南相馬IC）に遅れない時期に全線が供用される予定です。また、JR常磐線については、広野より南と原ノ町～相馬間のみ運行されており、広野～原ノ町間については、原子力災害の影響もあり、復旧の見通しは立っていない状況です。また、津波被害が甚大だった駒ヶ嶺～浜吉田間においては、内陸側へルートを移設し、平成26年度の工事着手を目指して事業が進んでおります。

福島の復旧・復興はこれから本格化します。今後も、福島復興再生総局の下、関係機関との連携の下、県内の復興に全力で取り組んで参ります。

### 【紹介した施策のURL】

避難指示解除準備区域等におけるインフラ復旧工程表

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/001174.html>

住宅再建・まちづくり関係事業に関する工程表

[http://www.reconstruction.go.jp/topics/post\\_167.html](http://www.reconstruction.go.jp/topics/post_167.html)



▲平成25年2月1日に発足した「福島復興再生総局」の看板設置式

## 第4回東北発コンパクトシティPT会議を開催しました

東北地方整備局 企画部 広域計画課

東北圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「都市と農山漁村の連携・共生による持続可能な地域構造形成プロジェクト」を推進するため、横手市や長岡市などのモデル都市をケーススタディとした各種検討や、モデル都市の取組状況、並びに今後の進め方等について、PT構成機関の他、アドバイザーである学識経験者を交えた「東北発コンパクトシティPT会議」（主査機関：東北地方整備局）を平成25年3月14日に開催しました。



▲東北発コンパクトシティPT会議

本会議では、東北発コンパクトシティの観点から、平時の「都市と農山漁村地域間」及び「近隣市町村間」の連携を踏まえ、東日本大震災においてどのような地域間連携が行われたかに関する事例収集の結果を報告しました。その後、モデル都市である横手市と長岡市から平成24年度の取組状況を報告していただきました。これらを踏まえ、PT構成機関やアドバイザーから、「支援によって出来たつながりを、平時の連携にフィードバックしていくことが重要である。」、「被災地の復興にあたっては、物理的なものだけではなく、地域社会・地域経済が再生できるかが課題である。」等の意見を頂きました。

↓PT会議の詳細については、こちらをご覧ください

<http://www.thr.mlit.go.jp/compact-city/contents/projectteam/index.html>

## 人事異動

4月1日付け、東北圏広域地方計画推進室の人事異動がありましたので、お知らせいたします。

（新総括副室長） 須田 健介（すだ けんすけ） 本省 国土政策局 総合計画課 課長補佐より

（前総括副室長） 渡部 諭（わたなべ さとし） 本省 土地・建設産業局 建設市場整備課 企画専門官へ

（新副室長） 高橋 弘典（たかはし ひろのり） 本省 国土政策局 地方振興課 課長補佐より

（前副室長） 原田 吉信（はらだ よしのぶ） 企画部 震災対策調整官へ

## 編集後記

まだ寒さが残っている今日この頃ですが、推進室メンバーも替わり、見直しに向けて取り組んで参ります。5月中を目途に第24回幹事会を開催し、東北圏広域地方計画の見直しにあたって構成機関の皆様と意見交換したいと考えております。よろしくお願いいたします。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。

メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp